



飛鳥寺を背に入鹿の
首塚の前で
視線の先に
甘檜丘があります。

飛鳥板蓋宮

皇極天皇が造営した宮、屋根を板葺にしたために名付けられた。クーデターが行われた場所。



石舞台

蘇我馬子の墓とする説が有力
ここは島の庄で、島宮跡であ
る。三十九個の石で、二千三
百トンである。+



甘樫丘から西を見る
畝傍山と二上山





甘櫛丘から北を見る
左側耳成山 右側香久山



甘檜丘から東を見る
目の前に飛鳥寺が見える。
丘の麓に蘇我本宗家があった、
中大兄と鎌足は、変後飛鳥寺
に入り軍備を固め対峙した。

中大兄三山歌一首

播磨に旅をした時にその地の伝説を聞いて弟との恋争いを思い浮かべて詠んだ歌

高山波。雲根火雄男志等
かぐやまは うねびををしと

耳梨與。相諍競伎
みみなしと あひあらそいき

神代從。如此璽有良之。
かみよより。かくなるらし。

古昔母。然璽有許曾。
いにしへも。しかなれこそ。

虚蟬毛。孺乎。
うつせみも。つまを。

相格良思吉
あらそふらしき。

中大兄皇子が、近江蒲生野に
游獵し給うた時額田王作歌

○ 茜 草 指。武 良 前 野 逝
○ あかねさす。む らさき のゆき

○ 標 野 行。野 守 者不見哉。
○ しめのゆき。のもり はみずや。

○ 君 之袖 布流。
○ きみかそでふる。

○ 卷一 二十

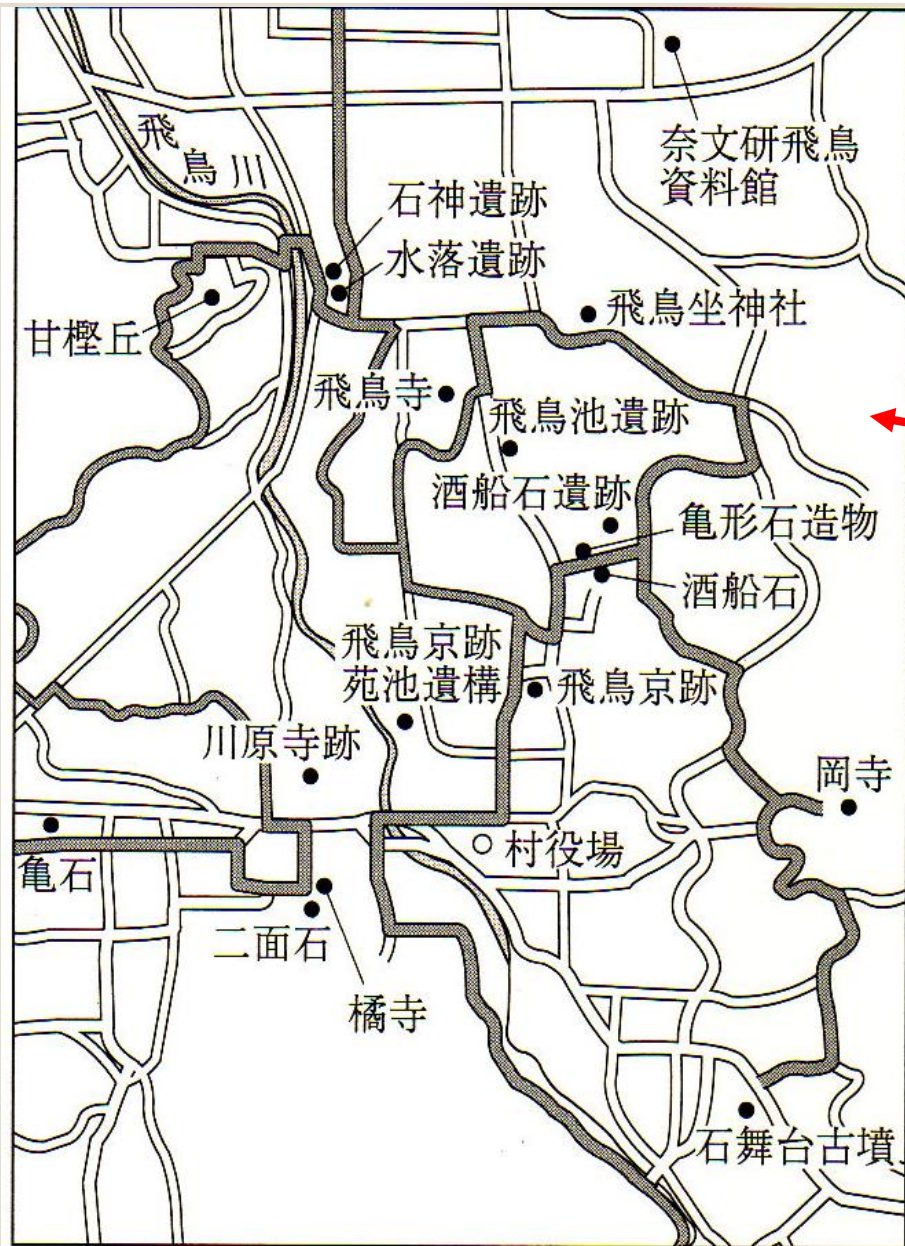
○ 大海人皇子答歌 明日香宮御宇天皇

○ 紫 草 能。爾保敝類妹 乎。
○ むらさきの。にほへるいもを。

○ 爾苦久有 者。人 孺 故 爾。
○ にくくあらば。ひとづまゆゑに。

○ 吾 恋 目八方。
○ われこひめやも。

○ 卷一 二十一



飛鳥中心部

—— 飛鳥周遊歩道

